

**【記載例】様式第10号**

**指導監督的実務経験証明書**

下記の者は、電気通信 工事に関し、下記の元請工事について指導監督的な実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

この様式は、特定建設業の専任技術者で(指定建設業は除く)、実務経験又は2級の国家資格等の場合に作成します。  
(建設業法第15条第2号口の該当者)

証明者の印は、法人の場合は登録している代表者印を、個人の場合は実印を押印してください。

指導監督的実務経験  
建設工事の設計又は施工の全般について、工事現場主任者又は工事現場監督者のような資格で工事の技術面を総合的に指導監督した経験の者を記入します。

新潟県新潟市中央区新光町11-1

(株)新潟県産業

証 明 者 代表取締役 魚沼 次郎 印

実際に雇用されていた期間を記入してください。

被証明者との関係 社員

証明者の立場からみた被証明者との関係を記入してください。

記

技術者の氏名	南魚沼 三郎		生年月日	S40年1月1日	使用された	H12年3月から
使用者の商号又は名称	(株)新潟県			期 間	H21年4月まで	
発注者名	請負代金の額	職 名	実務経験の内容		実務経験年数	
(株)新潟電話	200,000千円	工事課長	新潟加入者線路設備工事		H18年2月からH18年12月まで	
(株)長岡電話	150,000千円	〃	長岡加入者線路設備工事		H19年3月からH19年12月まで	
(株)上越電話	100,000千円	〃	上越加入者線路設備工事		H20年1月からH20年8月まで	
(株)柏崎電話	100,000千円	〃	柏崎加入者線路設備工事		H20年9月からH20年12月まで	
(株)新潟電話	50,000千円	〃	新潟西加入者線路設備工事		H21年1月からH21年3月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
使用者の証明を得ることができない場合はその理由					合計 満 2年 7月	

実務経験年数は重複しないこと

実務経験年数の合計を記入して下さい。  
なお、始まりの月は計上しない。

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成し、請負代金の額が4,500万円以上の建設工事(平成6年12月28日前の建設工事にあつては3,000万円以上のもの、昭和59年10月1日前の建設工事にあつては1,500万円以上のもの)1件ごとに記載すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が従事した工事現場において就いていた地位を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した元請工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。